

大募集!!

●広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。
 ※匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。
 〒061-3292 石狩市役所 広報いしかり 係
 ☎72-3153 ☎74-5581 ✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp



1回の除雪で1500万円!

市では、幹線・準幹線道路は降雪10cm、生活道路は降雪15cmを基準に除雪車が出動しています。例えば旧石狩市内全域を除雪するのに1回当たり、約1500万円、また除雪・排雪の処理費用は、一冬で約5億円掛かります。

猛雪で今年は1月から排雪開始に

大雪に対する市の対策を教えてください。

AQ

この冬は、全国的に積雪量が平年を大幅に上回り、石狩市でも1月

10日現在の累計降雪量は

269cmに達しています。昨冬の321cmには及ばないものの、平年に比べると38cmも多く、積雪深においては106cmに達し、昨冬より20cmも上回っています。

この事態を受け、市では、大雪の警戒体制会議を設置しました。1月8日からバス路線の排雪を行い、10日からは準幹線・幹線道路の排雪を実施。生活道路の排

教えて!市役所

市民の皆さんから寄せられた声をもとに、市役所からご提案するコーナーです。よりよいまちづくりを目指し、今後も市民の皆さんからの市政に対する要望や提案をお待ちしています。

問合せ 維持管理課 ☎72-3138

雪は、例年2月上旬からですが、今年は1月16日から実施しています(厚田・浜益区では、積雪深が130cmを超えていることから、13日から排雪を実施)。

●置き雪の問題

除雪車が出動するたびに発生する「置き雪」の問題。市に寄せられる苦情もこの置き雪に関するものが大半です。

除雪作業の優先課題は、バス路線・主要幹線・生活道路を確保すること、広範囲を短時間で処理することも求められます。そのため、各家庭の玄関前などにどうしても置き雪を残してしまい、ご迷惑をお掛けしています。

置き雪については、市民主体の組織である「雪対策市民協議会」の中でも討議され、例えば除雪の出動回数を減らし、その費用で置き雪処理をするという意見

も出されています。このような意見も参考に、冬期間の暮らしが少しでも快適になるよう、引き続き調査・研究していきます。

●屋根からの落氷雪に注意

毎年冬になると、屋根に積もった雪や氷、つららが落ちて、歩行者がけがや死亡する事故が起きています。冬期間の通行を円滑にし事故をなくすため、次のことに注意しましょう。

○道路に屋根の雪などが落ちる建物、丈夫な滑り止めなどを付けること、また、滑り止めなどを点検し、耐久性がないようであれば早めに直しましょう。

○屋根の雪は、気温が急に上昇し、特にマイナス3度からプラス3度になったときが一番落ちやすい状態です。早めに屋根から下ろし、下ろすときは歩行者など

に注意しましょう。作業の際には、はしごを固定し命綱を付けるなど転落防止にも十分注意してください。

○ビルの壁、窓枠、突出看板等からの雪などは、少量でも危険です。付着した雪などは、こまめに取り除きましょう。

○雪が落ちたときは、直ちに事故がないかを確認、歩行者の通行の支障とならないよう、速やかに処理してください。

○雪などが落ちる恐れのある軒下は、歩行者に十分注意を促すようにしてください。

○屋根から落ちた雪や家屋敷内の雪を道路に出すと歩行者や車の通行に支障となりますのでやめましょう。

事故の発生は、1日の気温が次第に高くなる11時ころから始まり、14時ころがピーク!





全体に赤っぽくて
見た目もグロテスク、でも味は絶品!

夜明けとともに来た人もいろいろ、朝9時の時点ですでに箱いっぱいの人も。「夜中2時に見に来たけど波高くて、今日拾えると思わなかったんだけどなあ」と遅れて来た人は少し残念そう。

「ルツツ」
とは?

正式名称は「ユムシ」。ゴカイやミミズの仲間で、アイヌ語の「ルツツ (ミミズに似るという意味)」が変化してルツツと呼ばれています。普段は浅い海底の砂や泥に穴を掘って生息。見た目はかなりグロテスクで、ほかの市町村ではあまり食べない海の幸です。

海の珍味ルツツがやってきた!

浜 益の海岸は平成17年12月2日、海の珍味を拾う人であふれました。珍味の正体は通称「ルツツ」と呼ばれる海生生物。前々日から浜益の海は大時化で、高波のため国道231号は一部通行止めになるほどの悪天候でしたが、こんなとき、海を眺めては決まって交わされる会話があります。それは「よるがもしんねえな」「いや、そこまでねえべえ」。海が大荒れになると、砂に潜っていたルツツが海岸まで運ばれます。ルツツが寄るほどの時化は年に1、2度あるかないかですが、今回は「よるがもしんねえな」と大時化の海を見て、みんなはそんな期待を抱いていたのです。

天候が回復すると、海岸にはルツツを拾うほくほく顔の人々が…。この日の食卓はきつと、久々の珍味の登場に会話もお酒も進んだことでしょう。



刺身、しょうゆ漬、三升漬、また火を通して食べてもいい。磯の香りと貝に似た歯ごたえで、酒のさかなにぴったりです。浜益区内の飲食店で買うこともできるそうです。

句歌歳時記

俳句

小春日や棚田にねまり牛憩ふ

冬ざれや風に乗りゆく鳶の笛

鈍色の海のうねりも冬ざるる

短歌

ゲレンデに灯火ともる手稲山

クリスマスツリーの瞬きに似て

雪雲にくらみし空に降る霽

根雪まぢかきさきぶれとして

練習を重ね披露のコンサート

ロビーに響くアンコールの声

福井 展子

浦島 秀男

猪又 孝子

笠原 泰江

田中 五郎

樋口 博

大募集!!

毎月の締め切りは前月の5日!!

特集をはじめ広報紙への意見や感想、批評、質問などをお寄せください。

匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。

☎061-3292 石狩市役所
広報いしかり 係

☎0133-72-3153 ☎0133-74-5581

✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp

